

シルバ－ 江田島



第 36 号

平成22年7月1日

〈発行〉
社江田島市シルバ－人
材センター

江田島市江田島町中央1-15-15
江田島市シルバ－ワークプラザ
TEL (0823) 42-5211
FAX (0823) 42-5051



剪定枝葉チップリサイクル事業



あいさつ

理事長 風呂井 侃

宗祖降誕会の講師から「老いて行く中で人間は進化して行く」と法話がありました。これは、今年の初めに中国新聞の天風録に掲載された葛飾北斎が「富嶽百景」の跋文に「自分は6歳の頃から物の形を写生するのが好きでさまざまな絵を描いてきたが、70歳までの作品は取るに足らない。今73歳になって、ようやく、描くものの命の在りどころが見えてきた。86歳になれば、ますますこの一筋に進み、90歳でその奥義を極め、百歳では神妙の域に達するだろう。そして百十歳になれば、この筆から描きだされる点も、線も生きるがごときものになるう」格段に寿命が延びた現代での言葉であればそれほど違和感を抱かないかもしれないが、北斎が生きたのは、人生50年が常識であった江戸時代なのであります。75歳になります私自身「老い」をどう生きるかは日々の課題と言っているのです。今や70歳以上の人が国民の6人に1人に当る2千万人を超すという。この2年間で2倍に増えています。「古来まれ」と誰も思うまいが、その70歳以上は公認候補にしないと決めた政党も在りますが、一部の農協やシルバ－人材センターでも理事にも年齢制限を課する所もあります。

若い頃には自信があったはずの体力も気力も衰えて、いつの間にか「残り」の人生といった考え方に陥ってしまうのですが、シルバ－人材センターで働く私達は北斎の「気概」に学び、共に生涯現役として活動しましょう。又センターの理念である自主自立共働共助に基づき会員相互が教えあい、学びあい老いたるたびに成長し健康にも配慮し会員の皆さんが長寿を達成されることを祈念してあいさつとします。

平成二十二年

シルバー人材センター三月期総会開催

一日時 平成二十二年三月三十日

(火)午後一時三十分

二 場所 江田島市シルバーワークプラザ
三 開会のことは 二井事務局長
四 理事長挨拶

雇用増は厳しい現状で、その上財源が少ないので、企画提案方式による独自事業を展開し財源確保を図っていかねばならない。新公益法人制度の施行に伴い公益法人に移行への準備を行う。

五 議長選出 宮ノ原釜賀会員を選出
六 定足数報告
七 現会員数二百二十五名、出席会員三十名、委任状百五十二名八 議事録署名人
久留須康尊
浜坂愛子八 議案第四号 収支補正予算
議案第五号 二十二年度事業計画
議案第六号 二十二年度収支予算
議案第七号 一般労働者派遣事業を行うことについて

以上の議案をいずれも原案どおり可決し、閉会した。



平成二十二年

シルバー人材センター五月期総会

五月期通常総会は五月二十八日、

江南ふれあいセンターで出席会員一五九名(本人出席四八名・委任状出席一一一名)で開催されました。一時三十分、司会者開会宣言

理事長あいさつ

ご来賓に市長代理として徳永福祉保健部長、市議会議長代理として新家市議会副議長のご臨席をいただき、また多数の会員の出席をいただき、本当にありがとうございます。今年

は二〇一〇年、二十一世紀の入口ともいべき年です。ところで国は二十二年予算編成に当って昨年末に事業仕分けを行い、シルバーの補助事業が予算要求の三分の一程度を削減するという厳しい評価がされましたが、全国シルバーの予算確保に向けた運動の結果、若干の減額は有りましたが、シルバーの事業予算は確保されました。今後高齢化社会が進展する中で財政事情が厳しくなり、シルバーに対する国や自治体からの支援は厳しくなるのではないかと考えられます。センターの安定的な運営基盤を図るためには自己財源の確保に向けた取り組みを今一層強めなければなりません。次に組織形態の見直しの一つとして本日提案させていただきます公益社団法人への移行でございます。その目的は「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民によ

る公益の増進に寄与する」ことです。

本総会の十二議案の中公益社団法人移行に関わるものです。十分ご審議いただきますようお願いいたします。

来賓祝辞として
田中達美市長は

総会開催をお祝い申し上げます。会員の皆様には本市行政についてご理解、ご協力をいただいていることにお礼申し上げます。これから高齢化はますます進みます。貴センターが就業意欲の高い高齢者の就業機会の確保に努め、地域社会の福祉の向上に敬意を表します。皆様にはその経験や技能を生かし、益々活躍されることを願って挨拶いたします。

上田市議会議長は

江田島市シルバー人材センターの総会がこのように盛大に行われることにまずお祝い申し上げます。貴センターが「自主・自立・共働・共助」のもと諸事業を積極的に進め、着実に実績をあげておられることに



敬意を表します。会員の皆様方のシルバー事業への参加は健康保持、介護予防に沿うものです。どうか長年蓄積された知識や経験を幅広い活動に反映され、活力ある地域づくりに引き続きお力添えをお願いします。

祝辞が終わりに入りました。司会者が議長選出方法について諮ったところ、事務局一任となり、「田口宜久」会員を提案し、全員の賛成を得ました。

田口議長の求めで二井事務局長は
・会員現在数 二二〇名
本日の出席会員数 四八名
委任状出席 一一一名

と報告、総会の成立が確認されました。議事録署名人には、梅田好政会員と大年正光会員が指名されました。

議事に入り、風呂井理事長が「平成二十一年度事業報告」と「平成二十一年度収支決算」の説明を行いました。内容は「会員の獲得、会員組織の充実、就業機会の開拓、会議等の開催状況、事業実績」など説明をしました。その後田口議長が監査報告を求め井川伍監査委員が「四月二十八日、野崎剛睦監査委員と共に監査を実施した。平成二十一年度の決算書類は公正妥当と認められる。また財産の状態も適正に表示されている。」と報告しました。その後質疑に入り、加藤孝右会員が「十七ペー

剪定枝葉チップ・リサイクル事業の安全祈願祭を挙

十二月八日(火)午前十一時から安全祈願祭が実施されました。これはかねてから計画していた剪定枝葉チップリサイクル事業の準備も完了し、事業開始前に市長、市議会、市の関係部長、県シルバー連合会など関係者約五十名が出席してのものと行われました。

まず神主の祝詞奏上が行われました。次いで風呂井理事長は、「事業としてのチップリサイクル施設が完成し、安全祈願祭に大勢の方が出席してくださり感謝しています。この事業は地球温暖化防止になります。県や市のこの事業に対する支援に喜んでいます。」と挨拶しました。

ついで二井事務局長が「チップ化したものを市内に配り花いっぱい運動や学校の美化、障害者支援センターのカブト虫飼育などに使ってもらい、併せて、この事業によって就業の場を提供する事業です。」として次のとおり事業報告をしました。「かかった経費は六〇二万六千円うち国が二五〇万円、市が二五〇万円、自主財源が一二〇万六千円です。」田中市長は「枝葉のチップ化は環境美化、地球の温暖化防止に役立つと思います。そのことを考え助成しました。」上田市議会議長も同趣旨の挨拶をされました。次いで理事長らによるテープカットが行われ機械のスイッチが押されました。

凄いい音と同時に投入口に入れた木片や枝葉が細分化され小さな木片となって集積袋に入ります。「すごい」と見ていた参加者が感嘆の声をあげます。試運転をしばらく続け、その後散会しました。



七月になると予約が多くなる

六月十四日、真道山キャンプ場を訪ねました。このキャンプ場の管理は市から委任されているとのことでした。

管理人の岩谷さんは

「七月二十二日に広島から保育園の子どもがキャンプに来る予定です。最近の来訪者は昼間だけでキャンプはしません」と話してくれました。

キャンプ場の東側に池があります。「二十九日にはこの池の水を使って消防署の訓練が予定されています。いまのところキャンプの予約はあまりありませんが、七月にはいると予約がどっと来ます。場内の所々に電源があるのでオートキャンプに来る

人のほとんどが炊飯器を持ってきます。夕食はたいいていカレーライスです」とと岩谷さんが話してくれました。

キャンプ場の上の方に音楽堂があり、舞台の隅に打楽器が置いてあります。



「この音楽堂の存在を知っている楽団はよくここを使います」

音楽堂の反対側にはコテージが数棟建っており、炊飯が出来るところになっています。マキは管理棟の壁ぎわに用意してありました。

「コテージの使用料は一泊五〇〇〇円です」

防護ネットをきれいにたたんで

大柿の大谷病院の裏手の花本さんの草刈りの現場に行きました。

私が行った時には草刈りはほとんど終り、家の裏手の法面を一人の仲間が掃き集めていました。

「この草刈りは一日ですますので必死でやりました」法面の西側の際にハチクが生えています。

「あれも切ります」花本さんの家の法面にむいた所に防護ネットを張って作業したとのこと

た。

次に「江田島市シルバー人材センターの公益社団法人への移行について」の議案に移り、質疑がなかったため採決に移り、賛成多数で承認されました。

その他の議案についても全て異議がなく賛成多数で承認されました。

田口議長はこの総会に提案された全ての議案の審議が終了したことを告げ「七十歳オラが村では青年部」という川柳を披露し「みなさん元気で頑張りましょう」と挨拶して降壇しました。

と岩谷さんが説明してくれました。

十数年前、私が江田島中学校の二年生とキャンプした時とは格段によくなっているのにびっくりしました。

と。作業が終わったのでネットを取り外し、二人でたたんでいところでした。

「この法面は半日でやりました」と言いながらきれいにたたんだネットを軽トラに積みこみます。

「暑いから身体に気をつけて」と挨拶してその場を去りました。



旬の味を満喫

二月七日(日)

江田島町小用のみなと公園で今年も恒例の「江田島市カキ祭」が開催されました。

気候もこの時期にしては暖かく、会場は



多くの人でにぎわい無料試食の焼きカキのコーナーには長蛇の列ができ瞬く間に無くなる盛況ぶりでした。

我らシルバー人材センターも豚汁・うどん・綿菓子・焼きイモを販売しました。

豚汁とうどんは女性会員が前日から準備に取り掛かり大変良い味に仕上がっており、大好評で完売しました。また、綿菓子は、百円という安さも手伝って順番待ちの子供たちが後も絶えず昼飯を食べる間もない盛況ぶりでした。ただ焼きイモは、機械の調子が悪く最後は叩き売りとなっていました。

会場には、カキ打ち体験コーナーの他二十七のブースがあり来場者は、あのブースこのブースと味定め、品定めをしながら手には買い物をしたビニール袋の数が一つ、二つと増えていっていました。また、ステージでは、「カキ積みコンテスト」「大声コンテスト」が行われ楽しいひと

時を過ごしていました。私たちも今日の成果に気を良くし「来年もまたがんばろうね」と話しながら後片付けをしました。

最初は一・五メートル四方の箱に入れて発酵させる

五月二十六日(水)チップ作りの現場を訪ねました。作業をしていた仲間は「普通の木は堆肥、桜の木は燻製用になります。チップは最初は一・



五メートル四方の箱に入れて発酵させます。一箱で三〇〇から四〇〇袋できます。機械は二台、一台はシルバー、もう一台は市から預っているものです。作業はたい

支える仲間

てい四人でします。今日は二人です。」
「機械にかからない大きな木は薪にします。だいたい一束三〇〇円です。売るのは宣伝することです。」
と話し、作業にかかります。木の枝を入れると破砕機

の台が上がり、入れた木の枝を抑えて破砕します。木の枝が破砕される音はすごく大きい。

作業は、一人が木の枝を破砕機に入れ、もう一人は、太めの丸太を鉋で割って適当な大きさにし、それを束ねて薪にします。二人の息の合った仕事ぶりに感心しました。

障子が溝に入らないので苦労する

五月二十六日(水)障子と襖貼りの作業現場(シルバークラップラザ)に行きました。

作業は二人の女性会員、一人が障子、一人が襖貼りにかかっています。

障子貼りにかかっている会員は、「二人の仕事は昨年の秋から始めました。障子は注文のあった家に取りに行きます。出来たら届けるのですが、なかなかはまらず苦労することもあります。また、木枠が古いので棧の色が出ないようによく見て洗います。乾かすと色の出もうすくなります。」作業

の手も休めず話してくれま



がったら窓際に立てかけ乾燥させます。

襖貼りをしている女性会員は古い襖紙を水で湿らせ、金属のヘラを使って紙をはぎ取る作業中です。「今日の作業は二人で障子と襖にかかっています。今やっている障子、襖は土曜日に届けます。」と話してくれました。

坂、法面の草刈作業が大変

五月十六日、小用の第一浄水場の周りの草刈の現場に行きました。



作業をしている仲間は七人。「向こうの丘の斜面の墓地のある所までの三メートルほど幅のある下りの道の草を刈ります。この道の下にはパイプが埋まっています。」と話してくれました。

「この仕事は四日から五日はかかり

ます。入口だけが平地であとは坂道法面の草刈は大変です」

「浄水場の周りに三日から四日かかり、坂道は一日くらいで終わります」と草刈の手を休めず話してくれました。

長さに切ってチップの材料にします」との答え。

フェンスの中の草は鎌で刈り取ったり手で抜いたりします」丁寧で根気のいる作業だと思いました。

すでに刈り取られた所は綺麗になっていました。

注文主は高齢者が多いので、よく聞いて過ちの無いようにする

五月二十六日(木)、大君の秋美さん宅の作業現場に行きました。大君と言えば昭和十九年の七月から十一月まで今は紡績工場になっている所が海軍航空廠に接收され、飛行機の気筒冠を作る工場に変わった場所です。昼夜二交替で働いた思い出の場所です。

余談はさておき、秋美さんの家は紡績工場から早瀬大橋よりの集落にありました。

私が行った時には、作業はほとんど終わっていました。「三人で来ています。一人は今刈り取った草や木の枝を捨てに行っています。表の庭や裏庭も草を取り、表の庭の桜の木は低くしました。」また、「綺麗にしないとともう来てくれるな!」と言わ



われら町を

れるので丁寧にします。」また、「注文者には高齢で一人暮らしの方が多いため、してほしいことをよく聞いて聞き違いの無いようにしています。また、仕事をするのはチームワークが大切です」と話してくれました。

きれいになるので気持ちがいい

五月十六日、小用の現場を訪ねたあと奥小路の浄水場に行きました。

私が尋ねた時は浄水場の石垣の下の平地の草刈の最中でした。

「今日は八人来ています。明日も八人でやる予定です」とは加藤班長代理さんの話。

「入口から石垣の下の平地までの斜面が急で、それに岩がごつごつ出ているので滑りやすく、気をつけてやっています」

平地の草を刈っている仲間は「草はまだあまり伸びていないので刈るのが楽です」

熊手で刈り終えた雑草を掃き集めている仲間は「綺麗になるので気持ちがいい」と話してくれ、別の仲間は「春の草は新芽なので刈りやすいが、秋の草は、固いのでヒモで刈る

のは無理」と話してくれました。

刈り取った雑草は警部のリレーセンターに持って行きます。この場所の草刈は年に三回行います。

「法面の作業ではスパイクが必要。事務所で用意しておいてほしいです。」

という切実な声も出ました。

休憩時間となり釜賀さんが用意してきた缶コーヒを頂いてその現場を去りました。



三メートル近く伸びた茨や低木を切るのが大変

五月十四日、江南にあるウオッツの東側の土地の草刈りの現場に行きました。作業をしている仲間は四人「昨日は川の北側の五畝ほどの土地の除草をして、今日から南側に移りました」とは仲間の弁。

現場は小川のそばの道路の北側の五畝ほどの平地の除草。面積は一反五畝ほど。

私は訪ねた時はすでに南側の民家と道路に面した西側に小石が飛ぶのを防ぐ防護ネットが張ってありました。

仲間四人のうちの三人は西側の小

川のそばの低木と茨の切り取り。仲間はネットのついた防護帽をかぶり、前掛をつけた服装で作業をしています。低木や茨は上半分を



切り取るため草刈機を一メートル以上も持ち上げねばならず相当力がいるようでした。

あと一人の仲間は刈り取った草や低木を集め、軽トラに積み込む作業。いずれにしても大変な作業と思いました。

「こういう所の作業には手当を増やしてもらわなければ・・・」とは仲間の切実な声を聞きました。

「怪我のないように・・・」と挨拶してこの場を去りました。

お知らせ

チップがいりませんか

畑にまくチップをさしあげます。必要な方は事務局に連絡し取りに来て下さい。

一斉検診の助成金を

市の一斉検診を受けられる方は受検料の領収書を持参すれば千円の助成金が出ます。

座談会

真道山キャンプ場の管理・運営をまかされて

チップ・リサイクル事業と真道山キャンプ場の管理従事者の話合いが6月8日に、もたれました。司会は二井事務局長、記録は下谷会員でした。出席者は大越、土佐岡、渡辺、小河、二矢川の各会員でした。

「薪割りはつらい」

二井 昨年の12月からチップ・リサイクル事業、今年の4月から真道山キャンプ場の指定管理を始めました。今日はその仕事に従事している皆様に集まっていたいただきました。その仕事について、各自の思いを話してください。

大越 チップをやり始めてから日が浅いが労働は思ったよりも重労働。力が必要で、やり始めは筋肉痛が出ました。また暑い時は、熱中症で熱や下痢に苦しめられました。粉碎機にかからない大きな木は薪にするように指示があり、作業をしています。薪割りはえらいです。

小河 チップはサイズ別で分けています。花壇用は大きく、野菜用は小さく作っています。

二井 チップは何段階にも分けてできるのではありませんか。



す。大きいのはそうはいきません。**土佐岡** 刃が切れなくなると段々大きくなります。

二井 刃は予備があるので取り替えてください。

「造ったチップはどうするの」

二井 今、チップは沢山できていますか。

大越 今日でも軽トラックいっぱい取りに来られました。

小河 無料で配布しているのだけど記録を残すために持っていく人は事務所で名前を書くようにすればいいと思います。

渡辺 出来上がった腐葉土は、袋詰めにしてありますが、匂いがするので。

二井 匂いはほとんどしません。

大越 袋詰めした腐葉土は江田島市の本庁、支所にサンプルを置かせてもらい、欲しい方はシルバー本所まで取りに来てもらうようにしたらどうですか。

「薪は一束300円」

土佐岡 真道山に持っていつている薪は堅いです。

大越 薪は一束300円。竹炭も300円で売っています。

下谷 キャンプファイヤーに使うので薪も用意しておくといいと思います。

二矢川 江田島の人より広島などか

ら来た人が薪を買います。**下谷** 隣の人からムカデが出て困っているのですが。

二矢川 竹酢液をまくと来なくなるそうです。

「桜のチップは燻製用に」

小河 チップの作業はいつが中心ですか。

二井 大体秋から冬で、夏場はほとんどないと思います。

小河 桜は燻製用にしたらどうでしょう。

二井 真道山のキャンプ場で桜チップも販売してみたらどうですか。

「真道山のことは誰が一番知っていますか」

土佐岡 真道山のキャンプ場の作業に行く時には前もって現場で仕事している会員に事情をよく聞いていくことが大切だと思います。引き継ぎなど決まっていらないようなので。

二井 事務局も手探り状態なのでよくわかりません。現場で従事している会員の皆様が一番わかっていると思います。

二矢川 配電盤の位置が最初はわかりませんでした。また、シャワーは使えますか。

二井 事務所には資料はありません。現場で確認してください。シャワーは操作をして、壊れていたら連絡をください。どうすれば動くのかは、自分でやってみてください。それで分かったことをマニュアルにしてください。初めてなので大変だと思います。今日ですが、がんばってください。今日はどうもありがとうございます。

小型チップ機を使用して

この度地球温暖化防止事業の一つとして剪定枝等の小型チップ機を市が購入し、その管理・保管先として市シルバー人材センターが選ばれ現在その任務を遂行しています。借受希望者は、市の「剪定枝葉チップ機の貸出規程」を遵守されれば貸出をいたしますので、市役所(市民生活部環境課)に申請書を提出し許可を受けたら、シルバー事務局へお申し込みください。次にこの機械を使用した結果この機械の長所及び注意点を記述してみますので参考にしてください。作業効率や安全作業等に留意のうえ使用してください。

長所

- 1 軽自動車に乗せられどこでも運搬できます。
- 2 処理能力が高いので作業効率が良い。約1反のミカン70本の畑で2人で約6時間でチップ化作業を終了しました。

注意点

- 1 重量があるので積み降ろしに十分注意してください。
- 2 高速回転しているので、投入口に絶対に手をいれないで、補助用具を使用し、又作業服(特に袖口)の安全確認、足場の安全確認を行ってください。
- 3 草や柔らかい葉は、飛ばされにくいので枝や幹等固い物と一緒に処理してください。
- 4 チップ機の刃の破損となるの

5 で、石等固い物は絶対に混入しないてください。
作業音が高いため騒音防止に注意してください。

つつじが紅に美しく 咲いていました

十四日、真道山キャンプ場の帰りに能美運動公園を訪ねました。



西と南側のグラウンドの境に植えられているつつじは今が真っ盛り、朱色がグラウンドのまわりを彩っています。「剪定は一人でやっています。この法面は急なので作業は大変でした」とは上向井さんの弁。

法面のつつじは半円形に咲きほこっています。つつじをこのように作るのは本当に大変だなと思いました。

「この場所は二人で、公園のほうは三人が交代でやっています。剪定時に使っているこの電動ノコは重いのですがこれだと木が伐れない。この作業をすると腕が二ガつてつらい」

また重ねて「七月四日にこの運動場を使う団体があるのだからいっておかなければと思って動いています」と話してくれました。

今日から始めた 中央公園の草刈り

十四日、真道山キャンプ

場から帰ってみると中央運動公園の草刈りが行われていました。作業は男五人、女一人の六人でやっています。



した。女性会員は道路から広場に入る道の掃除、男性会員は公園全体の草刈りです。

西側の丘のふもとを流れる小川のほとりは両側とも草が生い茂っています。これをすべて刈り、その草を処分するのは大変だなと思いました。ちようどセンターに来ていた加藤さんが出てきて

「今草を刈るのは遅い。剪定もすることになっているが、事務所のまわりだけしたら」

と作業している仲間に話しています。「植えこみの草は引き抜く。事務所のまわりは二枚刃でやったほうがいい」

と作業している仲間に助言します。

ちようど休憩時間となり、仲間が集まってきました。お茶などでノドをうるおしながらの話は所得税や医療費が高い。もっと安くならんものかという思いが語られていました。

保健師さん
からの
アドバイス

高齢者の健康管理シリーズ 30

いつまでも、すこやかに過ごすために 元気なうちから始めましょう

年齢を重ねるとともに、「若い頃のように体が動かなくなつた・・・心身の機能が低下した・・・」などと感じることが多くなり、健康上のさまざまな不安が増してきてはいませんか？

日頃のちよつとした心がけが、心身の機能の維持・向上につながるものです。いつまでも、すこやかに自立した生活が送れるよう日頃の生活の中で、次のことを心がけてみてください。

● 転ばない生活を心がけましょう！

- ・ 体力維持のための運動を心がけましょう。
- ・ コンセント類はたばねておくなど、家の中の安全対策を心がけましょう。
- ・ 靴は足に合ったサイズで、かかとが安定して靴底がすべりにくいものを選びましょう。

● バランスのとれた食事を心がけましょう！

- ・ 食が細くなり低栄養になる可能性があります。
- ・ 食が細くなり低栄養になる可能性があります。
- ・ 食が細くなり低栄養になる可能性があります。

● お口の健康を保ちましょう！

- ・ 毎食後、歯磨きをしましょう。
- ・ 小さな、やわらかめの歯ブラシを選びましょう。
- ・ 定期的に歯科検診を受けましょう。
- ・ 入れ歯の手入れをしましょう。

● 外出を心がけましょう！

- ・ 出かける習慣を身につけましょう（週に3〜4回は外出しましょう）。
- ・ 地域の行事や健康づくり教室などに、積極的に参加しましょう。

● 認知症を予防しましょう！

- ・ 金銭管理や身の回りのことは、自分でしましょう。
- ・ 短い昼寝と適度な運動をしましょう。

● 趣味をもちましょう。

- ・ 新しいことに挑戦しましょう。
- ・ 人との交流を大切にしましょう。

● うつ病を予防しましょう！

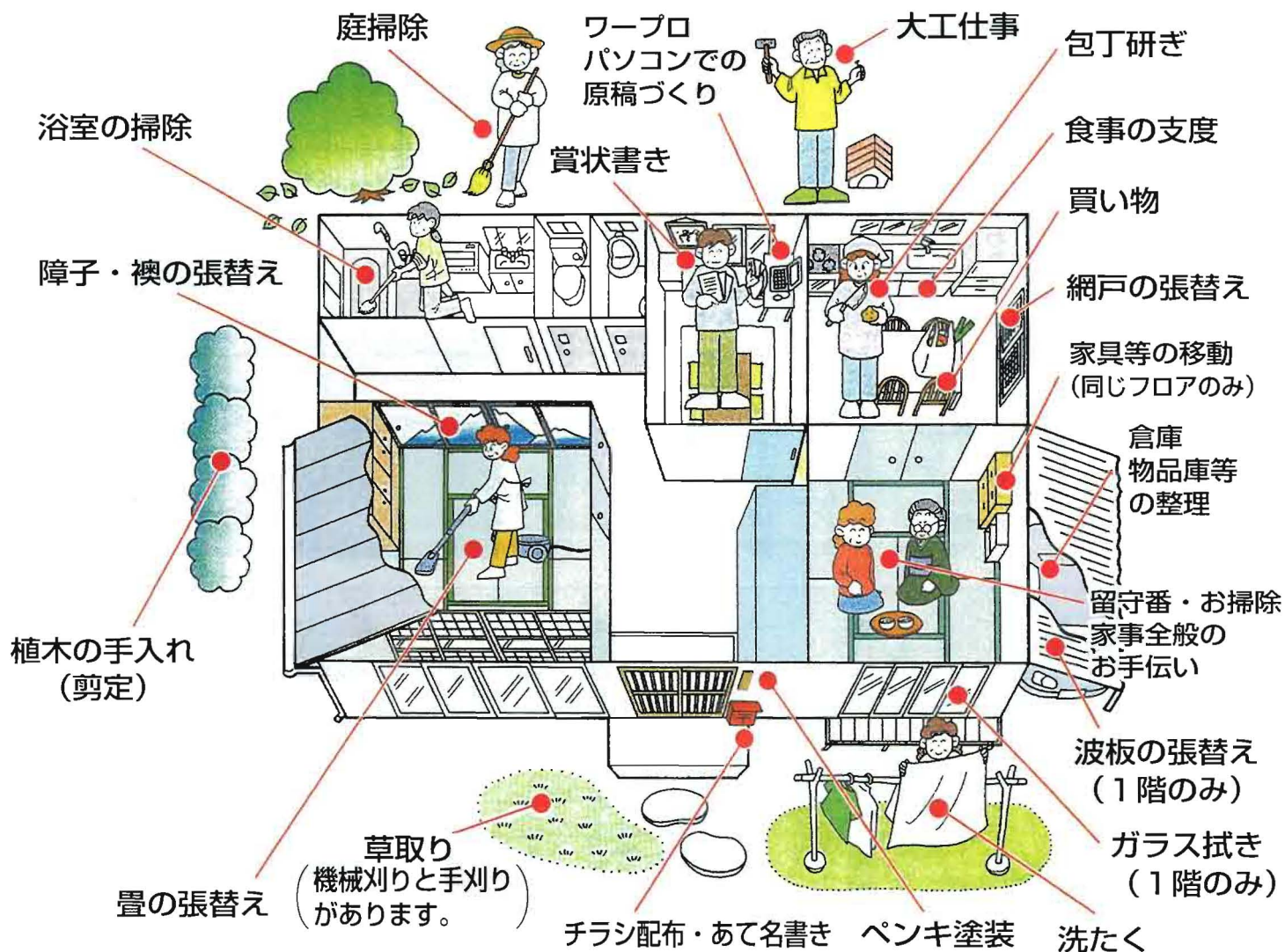
- ・ ストレスをためないようにしましょう。
- ・ 十分な睡眠をとりましょう。

● 年に一度は検診を受けましょう！

- ・ 毎年、継続して検診を受け、自分の健康状態を知り日頃の生活習慣を見直すきっかけにしましょう。市が実施する集団健診は、申込みを締め切りましたが、市内17か所の委託医療機関で受診できる個別健診は、9月30日（木）まで実施しています。個別健診についての詳細は、各世帯に配布している「22年度健診ガイドブック」をご覧ください。

高齢化社会に対応したシルバー人材センター

シルバー人材センターはこんな仕事をしています。



会員募集中

誰でも会員になれます

- 江田島市在住の方
- 60歳以上で健康な方
- 働く意欲のある方



まだまだ元気!!
まだまだ、輝ける!!